

各 位

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

**広島銀行とのシステム共同利用および詳細検討に関する基本合意について**

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）と北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、横浜銀行（頭取 片岡 達也）、東日本銀行（頭取 大石 慶之）、七十七銀行（頭取 小林 英文）、およびエヌ・ティ・ティ・データ（代表取締役社長 本間 洋）との間で2011年5月から利用している共同利用システム（以下「MEJAR」<sup>（注1）</sup>）に、広島銀行（頭取 清宗 一男）があらたに参加し、6行によるシステム共同利用に向けた詳細検討をおこなうことに合意しましたので、お知らせします。

MEJARはITコストの削減などを目的に、2010年1月に横浜銀行が、2011年5月（第1期）に北陸銀行と北海道銀行が利用を開始した共同利用システムです。MEJAR参加行は、2015年10月（第2期）に基盤更改を実施、2021年4月には、MEJARにオープン基盤を採用<sup>（注2）</sup>することに合意し、現在、2024年（第3期）のオープン基盤稼働に向け、システム開発を進めております。なお、システム以外では、サイバーセキュリティ分野・DX分野・事務分野・サステナビリティ分野での連携を順次進めております。

今回、上記の取り組みなどに賛同した広島銀行がMEJARに参加し、広島銀行を含めた6行とエヌ・ティ・ティ・データにてMEJARへのクラウド適用など第4期の検討を進めること、およびMEJAR以外のシステムの共同化についても検討を進めることを合意しました。また、システム以外の分野での連携実現も検討していきます。

北陸銀行と北海道銀行は、6行によるシステム共同利用により、強靱な経営基盤を構築するとともに、お客さまの利便性のさらなる向上を促進していきます。

**【システム共同利用を検討する範囲】**

預金・為替・融資等の業務処理機能を担う銀行基幹系システムであるMEJARのほか、データの蓄積・分析を担うシステム、インターネットバンキング、営業融資業務の支援システムなど、現状5行で共同利用しているシステムについて、6行での共同利用を検討していきます。

**【MEJARの共同利用の時期】**

広島銀行は2030年度の共同利用を前提に検討していきます。

**【その他連携について】**

MEJAR以外のシステム、およびシステム以外の分野についても、引き続き共同化・連携に努めてまいります。

（注1）Most Efficient Joint Advanced Regional banking-system（最も効率的な先進的的地方銀行共同システム）の略。

（注2）共同利用する基幹系システムへのオープン基盤の採用は、銀行業界で初めての取り組み。また、本取り組みは、金融庁が金融機関のシステムに関する先進的な取り組みを支援するために設置した『金融機関システム・フロントランナー・サポートデスク』の支援案件にも認定されております。

【(参考1) MEJAR参加行について】

6行の資金量(2022.3基準)  
 <合計50兆円>



【(参考2) MEJARの変遷・共同化状況について】



※1 サイバーセキュリティに関して、定期的な情報交換・態勢確認・共同訓練などを実施  
 ※2 デジタル技術を活用した業務プロセス改革、チャネル・サービス改革などの各施策を協働で推進

以上

【本件に関するお問い合わせ先】  
 ほくほくフィナンシャルグループ  
 北陸銀行 システム統括部 松居 TEL：076-432-2777  
 北海道銀行 システム統括部 吉田 TEL：011-815-1117